

令和8年3月19日(木)

令和7年度第2回東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会

資料 6

東京都がん検診精度管理評価事業 (2)技術・体制指標

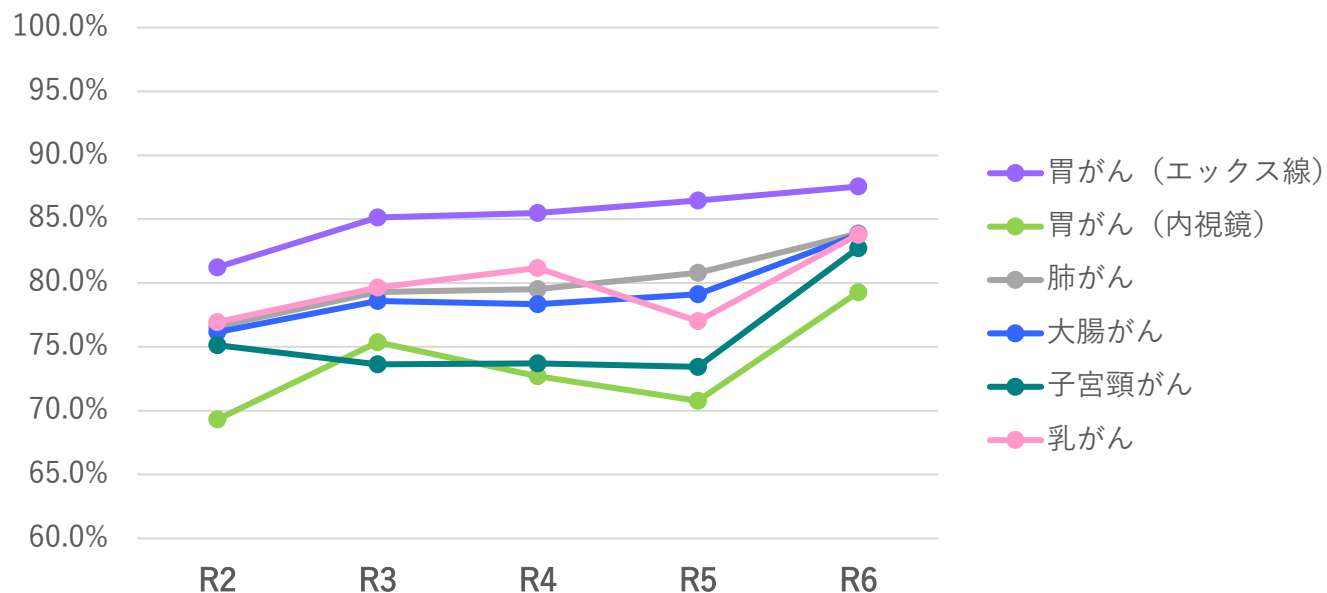
東京都保健医療局保健政策部
健康推進課成人保健担当

1 昨年度までの状況

過去5年間の都全体実施率

実施自治体の少ない集団検診の数値は年度ごとにバラつきがあるが、**集団・個別ともに全体的に改善傾向**にあり、80%台中盤から後半程度の実施率となっている。

集団検診



個別検診



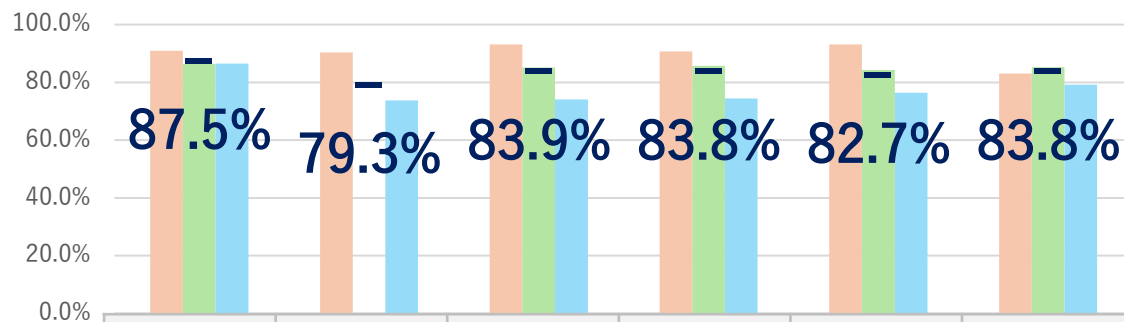
東京都がん検診精度管理評価事業(2)技術・体制指標(2/13)

都全体実施率 及び 地域別実施率

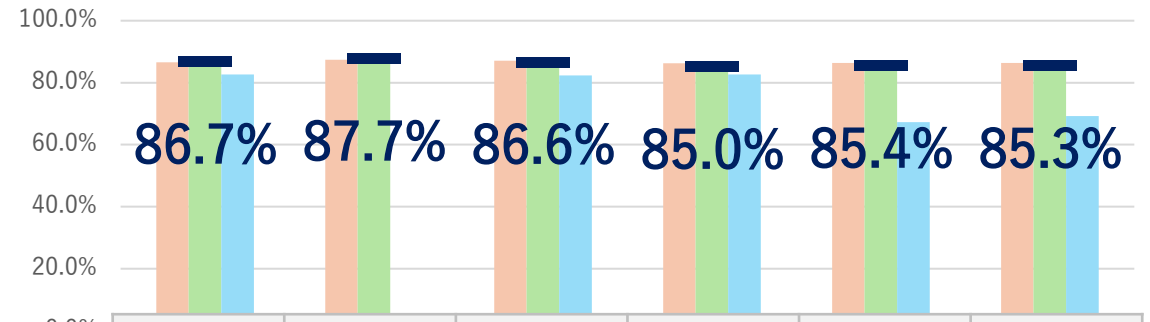
— . . . 東京都全体値

区部 及び 市町村部はすべてのがん種で80%台中盤以降となっている一方、
島しょ部の実施率は他の地域に比べて低い傾向にある

集団検診



個別検診



がん種	対象自治体	区部	市町村部	島しょ部			
胃(エックス線)	40	26	27	14			
胃(内視鏡)	9	33	0	0			
肺	40	29	11	0			
大腸	35	50	15	0			
子宮頸	18	54	0	0			
乳	37	49	18	0			
実施率							
区部		86.5%	87.4%	87.1%	86.3%	86.4%	86.4%
市町村部		86.4%	-	85.2%	85.7%	84.2%	85.3%
島しょ部		86.5%	73.7%	74.1%	74.4%	76.4%	79.2%

項目別の実施状況

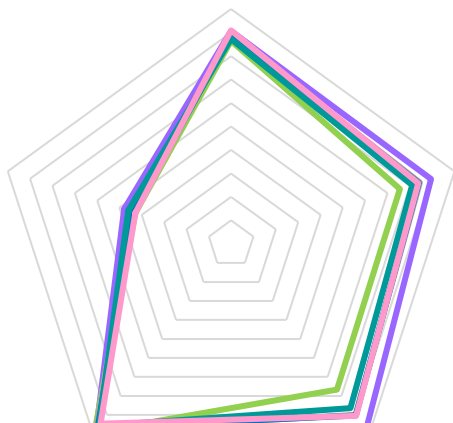
※ 全設問を5項目に分類し、項目ごとの実施率をレーダーチャートで表す

集団・個別ともに、がん種ごとにほとんど差はなく、
いずれも「**検診機関の質の担保**」の実施率が他の項目に比べて低い

集団検診

1 一次検診の
精度管理

5 検診機関の
質の担保



2 精検受診把握
・受診勧奨

4 精検結果分析

3 精検結果把握

胃がん(エックス線)

胃がん(内視鏡)

肺がん

大腸がん

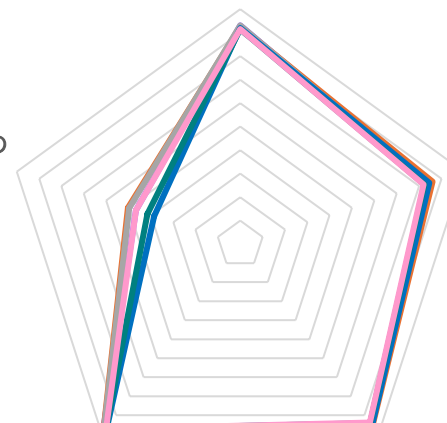
子宮頸がん

乳がん

個別検診

1 一次検診の
精度管理

5 検診機関の
質の担保



2 精検受診把握
・受診勧奨

4 精検結果分析

3 精検結果把握

2 今年度の状況

今年度からの変更点

※今年度より、市区町村用チェックリスト（令和6年度3月版）に基づく調査となったことによる変更

変更点① 市区町村の精度管理評価に関する設問の新設

「市区町村用チェックリスト」の遵守状況確認、市区町村全体の課題抽出、改善策の検討・実行等

変更点② 検診機関の精度管理評価に関する設問の改定・増加

検診機関別プロセス指標や検診機関用チェックリストの遵守状況について、把握・評価→課題抽出→改善策の検討→個別のフィードバック→改善依頼といった、段階に応じた設問に分割

変更点③ 設問内容の改定・増加にともなう対応

レーダーチャート作成のための項目分類改定 及び 設問数増加にともなう評価基準（A~E・Zの6段階評価）改定



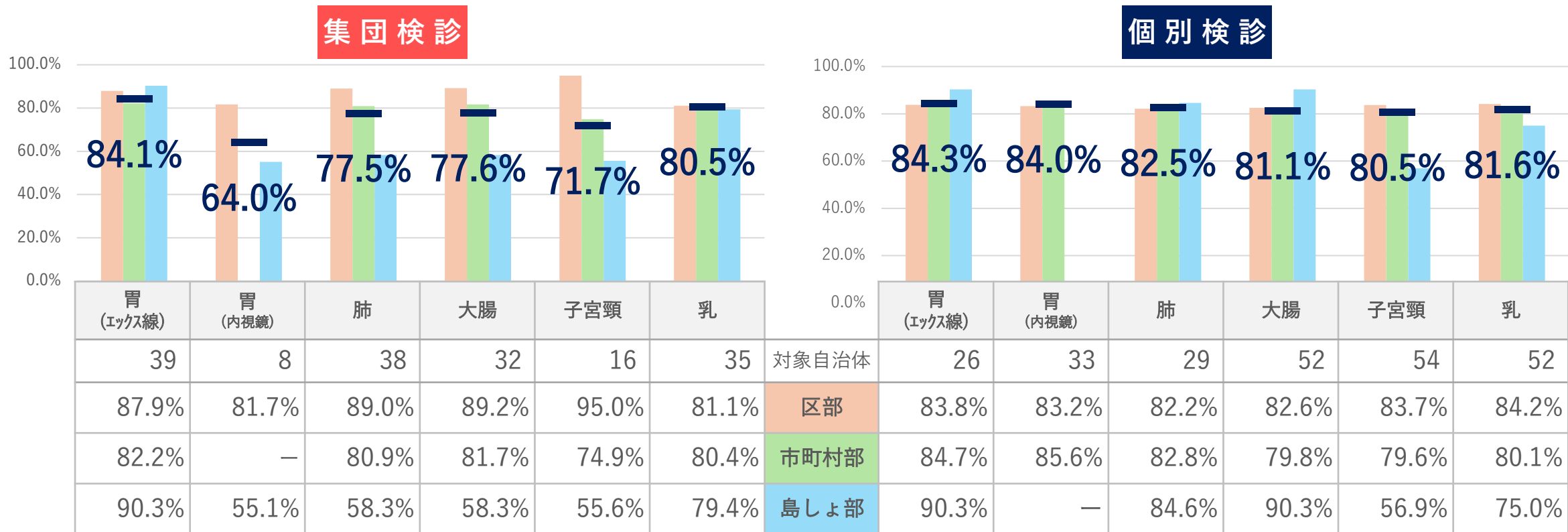
経年での実施率・評価基準の比較の際には、設問数・内容が昨年度までと大きく異なることに留意

東京都がん検診精度管理評価事業(2)技術・体制指標(5/13)

都全体実施率 及び 地域別実施率

— . . . 東京都全体値

設問数の増加や内容改定の影響を受け、**全体的に実施率が低下**
 集団検診における島しょ部の実施率は50%台と低迷

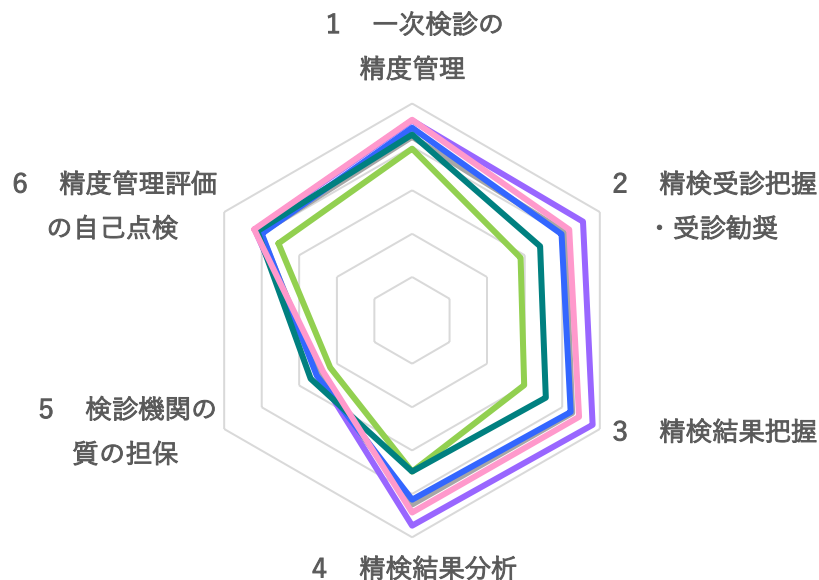


項目別の実施状況

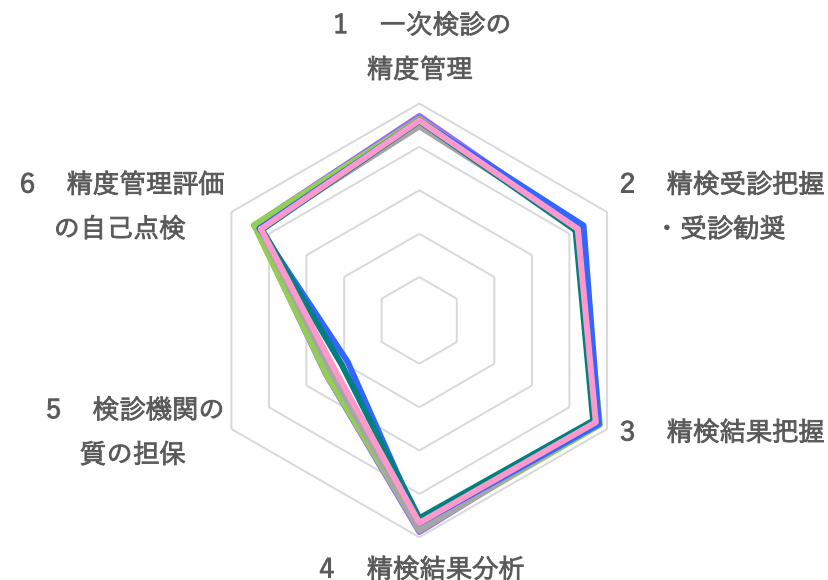
※ 全設問を6項目に分類し、項目ごとの実施率をレーダーチャートで表す

実施の少ない集団検診の胃がん（内視鏡）と子宮頸を除き、集団・個別ともにがん種間の差はあまりない
また、いずれも「**検診機関の質の担保**」の実施率が他の項目に比べて低い

集団検診



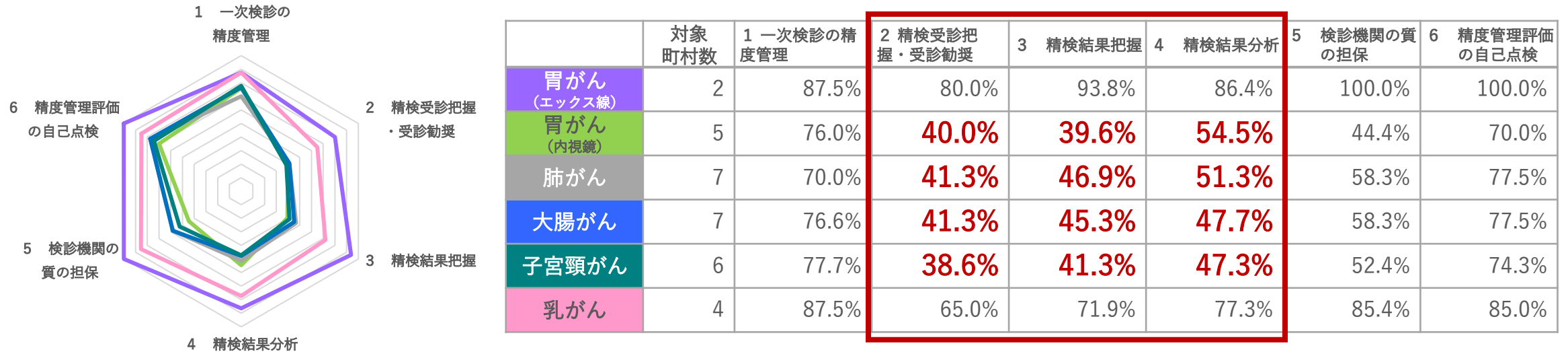
個別検診



— 胃がん(エックス線)
 — 胃がん(内視鏡)
 — 肺がん
 — 大腸がん
 — 子宮頸がん
 — 乳がん

島しょ部の項目別実施率 (集団検診のみ)

島しょ部の町村における技術・体制の課題は、
「精検受診把握・受診勧奨」・「精検結果把握」・「精検結果分析」である



※ 島しょ9町村のうち、御蔵島村は未回答。

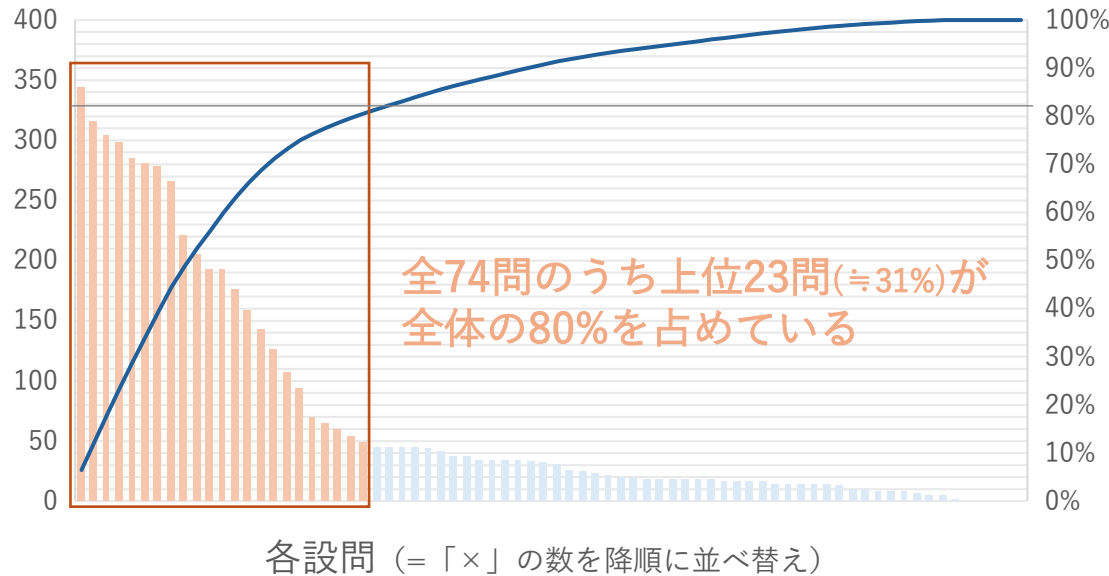
島しょ部における精密検査の課題

- ・ 検診結果は検診機関から郵送で本人に送付され、対面での精検受診勧奨の機会がない
- ・ 全がん種で要精検者0人となることも珍しくなく、報告フローや結果報告書様式等の対応フローが確立していない
- ・ 保健師が直接結果の聞き取りを行うケースが多いが、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を漏れなく聞き取ることは困難

設問別の状況

調査全体で設問別の「×」の数を数えると
「**検診機関の質の担保**」に関する設問が上位を占めている

「×」と回答した数のパレート図



※ パレート図: 各項目が、全体のどの程度の割合を占めているかを可視化したグラフ。全体の80%は上位約20%の項目で構成されているという「パレートの法則」が基になっており、優先すべき課題を発見する際に用いられる。

設問		×の数	累積割合
6-4-1	検診機関用チェックリストのフィードバック	344	6.5%
6-4-3	検診機関への改善依頼	316	12.4%
6-4-2	検診機関別プロセス指標のフィードバック	304	18.1%
1-2	対象者全員への個別受診勧奨	298	23.7%
6-4	検診機関への精度管理評価と改善策のフィードバック	285	29.1%
6-3-4	検診機関の改善策の検討	281	34.4%
6-3-3	検診機関毎の課題抽出	278	39.6%
6-3-1	検診機関用チェックリストの把握・評価	266	44.6%
6-2-4	市区町村における改善策の実行	221	48.8%
3-2-1	一覧掲載精密検査機関への結果報告依頼	205	52.6%
6-1-2	仕様書の遵守確認	193	56.3%
6-3-2	検診機関別プロセス指標の把握・評価	193	59.9%
6-3	検診機関の精度管理評価	176	63.2%
3-2	精密検査機関一覧の提示	159	66.2%
6-1-1	仕様書への精度管理項目記載	143	68.9%
4-3	精検方法・精検結果の関係機関への共有	126	71.3%
6-2-2	市区町村における課題抽出	107	73.3%
3-1	対象者全員への説明資料の個別配布	94	75.0%
4-4	過去5年間の精検方法・精検結果記録	70	76.4%
4-6	精検未受診者への受診勧奨	65	77.6%
13-1-3	早期がん割合の検診受診歴別集計	60	78.7%
12-1-3	陽性反応適中度の検診受診歴別集計	54	79.7%
5-5	精検結果報告の改善依頼	49	80.6%

※設問別実施率は別紙参照

3 今後の取組の方向性

各分野における**都事業の普及・活用促進**により、区市町村における技術・体制の整備をすすめていく

設 問		×の数
6-4-1	検診機関用チェックリストのフィードバック	344
6-4-3	検診機関への改善依頼	316
6-4-2	検診機関別プロセス指標のフィードバック	304
1-2	対象者全員への個別受診勧奨	298
6-4	検診機関への精度管理評価と改善策のフィードバック	285
6-3-4	検診機関の改善策の検討	281
6-3-3	検診機関毎の課題抽出	278
6-3-1	検診機関用チェックリストの把握・評価	266
6-2-4	市区町村における改善策の実行	221
3-2-1	一覧掲載精密検査機関への結果報告依頼	205
6-1-2	仕様書の遵守確認	193
6-3-2	検診機関別プロセス指標の把握・評価	193
6-3	検診機関の精度管理評価	176
3-2	精密検査機関一覧の提示	159
6-1-1	仕様書への精度管理項目記載	143
4-3	精検方法・精検結果の関係機関への共有	126
6-2-2	市区町村における課題抽出	107

区市町村訪問・がん検診事業担当者連絡会

実施体制や精度管理に課題のある自治体への個別訪問による技術的助言・指導や、好事例の共有や担当者間での意見交換を目的としたグループワークの開催

➡ 資料8

精密検査受診率向上・結果把握向上推進事業

精密検査依頼書兼結果報告書（東京都統一様式）の活用促進や、結果報告を掲載の要件とする東京都精密検査実施医療機関リストの作成・公開

➡ 資料10

がん検診実施機関における精度管理のためのデータ活用事業

検診機関別プロセス指標や検診機関用チェックリストの遵守状況を把握するためのシステム構築や、評価・改善策を個別にフィードバックする様式のひな型を提供

➡ 資料11

4 がん部会通知

通知文

8 保 医 保 健 第 ● ● 号
合 和 8 年 ● ● 月 ● ● 日

● ● 区
保健衛生主管部長 殿

東京都保健医療局保健政策部長
● ● ● ● ● ●
(公印省略)

令和8年度東京都がん検診精度管理評価事業における生活習慣病検診管理指導協議会がん部会の意見及び評価について(市区町村用チェックリストの実施状況)

記

	胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診		子宮頸がん検診		乳がん検診			
	胃部エックス線検診	胃内視鏡検診	全項目数:65		全項目数:62		全項目数:65		全項目数:62			
	実施項目数	評価	実施項目数	評価	実施項目数	評価	実施項目数	評価	実施項目数	評価		
● ● 区	58	B	59	B	59	C	55	C	62	B	59	B

※調査結果の詳細については別紙参照

令和7年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」設問別実施率一覧(集団検診)

No	チェックリスト項目	胃		肺(66)		
		エックス線(63項目)	内視鏡(63項目)	エックス線(63項目)	内視鏡(63項目)	
		東京都 ● ● 区	東京都 ● ● 区	東京都 ● ● 区	東京都 ● ● 区	
調査1 調査年度の検診について						
問1 検診対象者の情報管理						
問1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか	100.0%	○	97.4%	○	100.0%
問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	46.2%	×	34.2%	×	38.2%
問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行いましたか	3.8%	×	5.3%	×	2.9%
問1-3	対象者数(推計でも可)を把握しましたか	100.0%	○	100.0%	○	100.0%
問2 受診者の情報管理						
問2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しましたか	96.2%	○	97.4%	○	97.1%
問2-2	過去3年間の受診歴を記録していますか	96.2%	○	89.5%	○	82.4%
問3 受診者への説明、及び要精検者への説明						

実施設問数 (=○の数) ごとに6段階の評価基準を掲載

		胃がん検診				肺がん検診		大腸がん検診		実
		胃部エックス線検診		胃内視鏡検診		全項目数:65		全項目数:62		
		全項目数:62	全項目数:62	全項目数:65	全項目数:62	全項目数:65	全項目数:62			
		実施項目数	評価	実施項目数	評価	実施項目数	評価	実施項目数	評価	
● ● 区	集団検診									
	個別検診	58	B	59	B	59	C	55	C	

変更点 全設問の都全体実施率と当該区市町村の回答状況を掲載

令和7年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」設問別実施率一覧(集団検診)

No	チェックリスト項目	胃		肺(66)		
		エックス線(63項目)	内視鏡(63項目)	エックス線(63項目)	内視鏡(63項目)	
		東京都 ● ● 区	東京都 ● ● 区	東京都 ● ● 区	東京都 ● ● 区	
調査1 調査年度の検診について						
問1 検診対象者の情報管理						
問1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか	100.0%	○	97.4%	○	100.0%
問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	46.2%	×	34.2%	×	38.2%
問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行いましたか	3.8%	×	5.3%	×	2.9%
問1-3	対象者数(推計でも可)を把握しましたか	100.0%	○	100.0%	○	100.0%

昨年度までの評価基準

令和元年度第1回がん部会において議論し、基準年（平成30年度）の調査結果をもとに評価基準を設定

- ・満点(=100%)のみをA評価とする
- ・がん種ごとに中央値をC評価の下限值として、B評価からD評価まで均等に振り分ける
- ・集団/個別は同じ評価基準として、より高い中央値を採用する

評価	胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳
A	52	52	52	52	55	52
B	45~51	44~51	43~50	45~51	46~54	45~51
C	37~44	35~43	35~42	37~44	37~45	38~44
D	29~36	26~34	27~34	29~36	28~36	31~37
E	~28	~25	~26	~28	~27	~30
Z	無 回 答					

C評価以下を
「改善指導対象」とする

今年度調査より設問数が大幅に増えたことから、評価基準の見直しが必要

新評価基準の設定

① 満点のみをA評価とする

評価	胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳
A	62	62	65	62	65	62

② 中央値をC評価の下限值とする。集団/個別は同じ基準を用いるものとし、より中央値が高い方へ統一する。

評価	胃 (エックス線)		胃 (内視鏡)		肺		大腸		子宮頸		乳	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
対象自治体	39	26	8	33	38	29	32	52	16	54	35	52
中央値	51	53	48.5	52	53	55	50	50	53.5	53	50	50
	集団も 53とする		集団も 52とする		集団も 55とする		小数点を切上げ 54とする					

③ B評価～D評価をできるだけ均等に振り分ける

※ B評価・C評価を均等に振り分けられない場合、より下層のC評価の該当数が多くなるように振り分ける

例) 胃 (エックス線) 評価基準

評価	胃 (エックス線)	
	上限	下限
A	62	
B	61	58
C	57	53
D	52	48
E	～47	
Z	無回答	

同様の手順で、5がん種の新評価基準を設定する

今年度の評価分類

A評価となったのは2自治体であり、
全体の3/4はC評価以下(=改善指導対象)である

A	B	C	D	E
1.9%	22.7%	25.6%	30.2%	19.6%

胃 (エックス線)			
評価	範囲	集団	個別
A	62	1	0
B	61 ~ 58	8	6
C	57 ~ 53	9	9
D	52 ~ 48	13	6
E	~47	8	5
Z	未回答	0	0

胃 (内視鏡)			
評価	範囲	集団	個別
A	62	1	0
B	61 ~ 57	0	8
C	56 ~ 52	1	10
D	51 ~ 47	3	11
E	~46	3	4
Z	未回答	1	0

肺			
評価	範囲	集団	個別
A	65	2	0
B	64 ~ 60	7	6
C	59 ~ 55	6	9
D	54 ~ 50	11	6
E	~49	12	8
Z	未回答	1	0

大腸			
評価	範囲	集団	個別
A	62	1	0
B	61 ~ 56	8	11
C	55 ~ 50	9	17
D	49 ~ 44	9	19
E	~43	5	5
Z	未回答	1	0

子宮頸			
評価	範囲	集団	個別
A	65	2	0
B	64 ~ 60	4	11
C	59 ~ 54	2	10
D	53 ~ 48	2	22
E	~47	6	11
Z	未回答	1	0

乳			
評価	範囲	集団	個別
A	62	1	0
B	61 ~ 56	10	15
C	55 ~ 50	9	15
D	49 ~ 44	10	13
E	~43	5	9
Z	未回答	0	0